

全国大学書写書道教育学会 第30回（横浜）大会 開催要項（第2次案内）

下記の通り、第30回大会を開催します。多数ご参加ください。

- 1、主 催 全国大学書写書道教育学会
- 2、後 援 神奈川県教育委員会・横浜市教育委員会
- 3、開催大学 横浜国立大学
- 4、期 日 平成27年10月11日（日）
- 5、会 場 横浜国立大学教育人間科学部
所在地 〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台79-2
- 6、参加費 4,000円（※大学院生は、2,000円）
- 7、日 程（予定）

10月11日（日）

9:00～9:25 受付

◆研究発表

〈第1分科会〉 7号館201室

9:30～9:35 発表と質疑等の案内 司会 樋口咲子（千葉大学）

9:35～10:05 (1-1) 明治期師範学校「教科」における教授法
－「習字科」、「国語科」書き方に注目して－

東京学芸大学大学院 野本 翔太

10:10～10:40 (1-2) 大正・昭和初期における中等教育を中心とした硬筆指導に関する研究

東京学芸大学大学院 大橋 文子

10:55～11:25 (1-3) 大正・昭和戦前期の習字科教員養成における臨書・書道史学習の導入

畠山記念館 柳田さやか

11:30～12:00 (1-4) 大正期「書き方」教育における二項対立の克服

帝京科学大学 鈴木 貴史

〈第2分科会〉 7号館202室

9:30～9:35 発表と質疑等の案内 司会 齋木久美（茨城大学）

9:35～10:05 (2-1) 手書き文書のパラ言語的機能における規範性と個性等について
－うれしさを感じさせる要素からの検討－

都立北特別支援学校 白岩 ゆき

高崎健康福祉大学 菅野陽太郎

上越教育大学 押木 秀樹

10:10～10:40 (2-2) 手書きと言語能力獲得の関連性について

－脳の機能と構造から考える－

東京書芸協会 川原 淳

10:55～11:25 (2-3) 左手書字における「書き進め方」と「持ち方」との相関性

静岡大学 杉崎 哲子

11:30～12:00 (2-4) 小学校低学年毛筆（軟筆）書写に適した用紙と水溶液の開発

－ヨウ素デンプン反応及びクルクミン発色を応用して－

武蔵野大学 廣瀬 裕之

武蔵野大学大学院生 金井 彬

武蔵野大学大学院生 遠西 雄太

〈第3分科会〉 7号館211室

9:30～9:35 発表と質疑等の案内 司会 和田圭壮（福岡教育大学）

9:35～10:05 (3-1) 言語活動と書道の学習に相乗効果が期待できる批評

－美術教育における批評との比較から－

10:10～10:40 (3-2)	地域社会と連携しながら進める書道教育に関する研究	常磐大学非常勤講師 田畑 理恵 四国大学 太田 剛
10:55～11:25 (3-3)	学習初期段階における書字動作の学習と学習用筆記具の効果 －平仮名の学習における磁石筆の有効性－	信州大学 小林比出代 長野市立城山小学校 小池 勲 上越教育大学 押木 秀樹
12:00～13:00	昼食	
13:00～14:00	◆総会(詳細は、別紙「総会次第」を参照)	6号館101室
14:10～16:20	◆第30回記念シンポジウム 「手書き文字と書写書道教育学の未来 ー学会30年の歩みとこれからー」	6号館101室
	(1) 30年を振り返る	本会理事長 山梨大学 宮澤 正明
	(2) 研究の成果と展望	広島大学 松本 仁志
	(3) 今日的な課題(言語活動と書写)	横浜国立大学 青山 浩之
	(4) 手書き文字の未来のために	上越教育大学 押木 秀樹
		コーディネーター 武蔵野大学 廣瀬 裕之
16:30	閉会	

10、若手研究者による懇話会

日時 10月11日(日) 午後4時45分から午後5時15分に行います。
会場 横浜国立大学教育人間科学部 7号館201室

12、懇親会(三学会合同)

日時 10月10日(土) 午後6時00分から午後8時00分まで
会場 菜香新館(中華街)
〒231-0023 横浜市中区山下町192 045-664-3155
会費 6,000円(*大学院生は4,000円)

※大学から懇親会場まで、直行バスをご用意します。懇親会に出席の方はご利用いただけます。